【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の２第１項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2026年11月13日
【事業年度】	第26期（自　2025年４月１日　至　2026年３月31日）
【会社名】	トレンダーズ株式会社
【英訳名】	Trenders，Inc．
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 黒川 涼子
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区東三丁目16番３号
【電話番号】	03-5774-8876
【事務連絡者氏名】	取締役CFO 田中 隼人
【最寄りの連絡場所】	東京都渋谷区東三丁目16番３号
【電話番号】	03-5774-8876
【事務連絡者氏名】	取締役CFO 田中 隼人
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町２番１号）

1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

2026年６月30日に提出いたしました第26期（自　2025年４月１日　至　2026年３月31日）有価証券報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

第一部　企業情報
第２　事業の状況
４　経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析
第５　経理の状況
１　連結財務諸表等
(1) 連結財務諸表
注記事項
（セグメント情報等）
セグメント情報
３．報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

3【訂正箇所】

訂正箇所は＿＿＿を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第２【事業の状況】

４【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

（訂正前）

（省略）

(a) マーケティング事業

マーケティング事業は、「マーケティング領域」「メディカル領域」の２領域から構成されます。各領域の内容は以下の通りであります。

＜マーケティング領域＞

SNSファーストな統合型プランニングによるマーケティング支援

＜メディカル領域＞

自由診療クリニックのマーケティング支援

本事業においては、マーケティング領域において、zenplusを2025年３月期に子会社化して当期より損益計算書を連結しております。

当該売上高の増加があったものの、既存サービスであるインフルエンサーマーケティングやMimi Beautyについて、競合環境の激化やプラットフォーム要因により売上高、売上総利益は予想を下回る推移となり、一方で新規連結に伴う販売費及び一般管理費の増加があったため、セグメント利益は減少しております。

以上の結果、当連結会計年度の業績は以下の通りとなりました。

売上高	7,690,089千円	（前期比28.3%増）
セグメント利益	559,638千円	（前期比41.9%減）

(b) インベストメント事業

インベストメント事業は、保有する資金を効果的、効率的に運用するため、非上場会社を始めとする成長事業・企業への投資を行っております。

本事業においては、営業投資有価証券として保有する社債の利息収益を計上し、前連結会計年度にあった営業投資有価証券の売却は発生しませんでした。

以上の結果、当連結会計年度の業績は以下の通りとなりました。

売上高	131,254千円	（前期比33.3%減）
セグメント利益	128,471千円	（前期比5.6%減）

(c) ECコンサルティング事業

ECコンサルティング事業は、第３四半期連結会計期間に新設したセグメントで、ECモールに特化した戦略コンサルティング・運用代行サービスを提供しております。

当連結会計年度の業績は以下の通りとなりました。

売上高	456,988千円
セグメント利益	142,391千円

（省略）

（訂正後）

（省略）

(a) マーケティング事業

マーケティング事業は、「マーケティング領域」「メディカル領域」の２領域から構成されます。各領域の内容は以下の通りであります。

＜マーケティング領域＞

SNSファーストな統合型プランニングによるマーケティング支援

＜メディカル領域＞

自由診療クリニックのマーケティング支援

本事業においては、マーケティング領域において、zenplusを2025年３月期に子会社化して当期より損益計算書を連結しております。

当該売上高の増加があったものの、既存サービスであるインフルエンサーマーケティングやMimi Beautyについて、競合環境の激化やプラットフォーム要因により売上高、売上総利益は予想を下回る推移となり、一方で新規連結に伴う販売費及び一般管理費の増加があったため、セグメント利益は減少しております。

以上の結果、当連結会計年度の業績は以下の通りとなりました。

売上高	**7,690,089千円**	**（前期比28.3%増）**
セグメント利益	**638,229千円**	**（前期比33.7%減）**

(b) インベストメント事業

インベストメント事業は、保有する資金を効果的、効率的に運用するため、非上場会社を始めとする成長事業・企業への投資を行っております。

本事業においては、営業投資有価証券として保有する社債の利息収益を計上し、前連結会計年度にあった営業投資有価証券の売却は発生しませんでした。

以上の結果、当連結会計年度の業績は以下の通りとなりました。

売上高	**131,254千円**	**（前期比33.3%減）**
セグメント利益	**128,471千円**	**（前期比5.6%減）**

(c) ECコンサルティング事業

ECコンサルティング事業は、第３四半期連結会計期間に新設したセグメントで、ECモールに特化した戦略コンサルティング・運用代行サービスを提供しております。

当連結会計年度の業績は以下の通りとなりました。

売上高	**456,988千円**
セグメント利益	**63,800千円**

（省略）

第５【経理の状況】

１【連結財務諸表等】

（１）【連結財務諸表】

【注記事項】

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

３．報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

（訂正前）

（省略）

当連結会計年度（自　2025年４月１日　至　2026年３月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）１	合計（注）２
	マーケティング事業	インベストメント事業	ECコンサルティング事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,690,089	131,254	456,988	8,278,331	－	8,278,331
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－
計	7,690,089	131,254	456,988	8,278,331	－	8,278,331
セグメント利益	559,638	128,471	142,391	830,501	△103,345	727,155
セグメント資産	7,250,371	718,338	4,543,403	12,512,112	－	12,512,112
その他の項目						
減価償却費	36,968	－	6,725	43,693	－	43,693
のれん償却額	81,312	－	104,787	186,099	－	186,099

（注）１．セグメント利益の調整額△103,345千円は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

２．セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（訂正後）

（省略）

当連結会計年度（自　2025年４月１日　至　2026年３月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）１	合計（注）２
	マーケティング事業	インベストメント事業	ECコンサルティング事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,690,089	131,254	456,988	8,278,331	－	8,278,331
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－
計	7,690,089	131,254	456,988	8,278,331	－	8,278,331
セグメント利益	638,229	128,471	63,800	830,501	△103,345	727,155
セグメント資産	7,250,371	718,338	4,543,403	12,512,112	－	12,512,112
その他の項目						
減価償却費	36,968	－	6,725	43,693	－	43,693
のれん償却額	81,312	－	104,787	186,099	－	186,099

（注）１．セグメント利益の調整額△103,345千円は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

２．セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。